

LexiTracker Write タブ 操作マニュアル

先生向け：授業での Write タブ活用ガイド

最終更新: 2026 年 5 月 12 日

目次

- はじめに
- Quick Support モード（短文・即時フィードバック）
- Process Writing モード（多段階改稿）
- 授業設計のヒント
- よくある質問・トラブルシュート
- 用語集

1. はじめに

1-1. Write タブとは

LexiTracker LMS の **Write タブ** は、学習者が英作文を行いながら AI のフィードバックを受けられる機能です。授業で扱う英作文活動を「**書く** → **フィードバックを受ける** → **修正する**」というプロセスでサポートします。

Write タブには **2 つのモード**があります。

- **Quick Support**：短い英文を素早くチェックしてもらうための簡易モード
- **Process Writing**：複数の Draft（草稿）を経て段階的に文章を磨き上げる本格モード

1-2. モードの使い分け

観点	Quick Support	Process Writing
用途	短文・部分的なチェック	まとまった英作文の改稿
想定時間	5～15 分	30 分～複数回の授業
学習者の主な操作	英文を入力 → Ask AI	Plan → Draft → AI → 修正 → Save → 繰り返し

観点	Quick Support	Process Writing
保存される履歴	チャット履歴のみ	Draft 1, 2, 3... の Snapshot
想定授業例	文法確認、表現の言い換え練習	段落作文、エッセイ、レポート

1-3. 先生がマニュアルを試すための準備

先生にも **学習者アカウント** が配布されています。マニュアルを読みながら、実際の画面で試すことができます。

1. ブラウザで <https://langtech.jp/lexitracker/> にアクセス
2. 配布されたアカウントでログイン
3. 上部メニューから **Write** タブを開く

ポイント

実際に操作しながらマニュアルを読み進めると理解が深まります。

注意

先生アカウントで保存した内容は先生アカウント内にだけ残ります。**学生の学習データには影響しません**ので、安心して試してください。

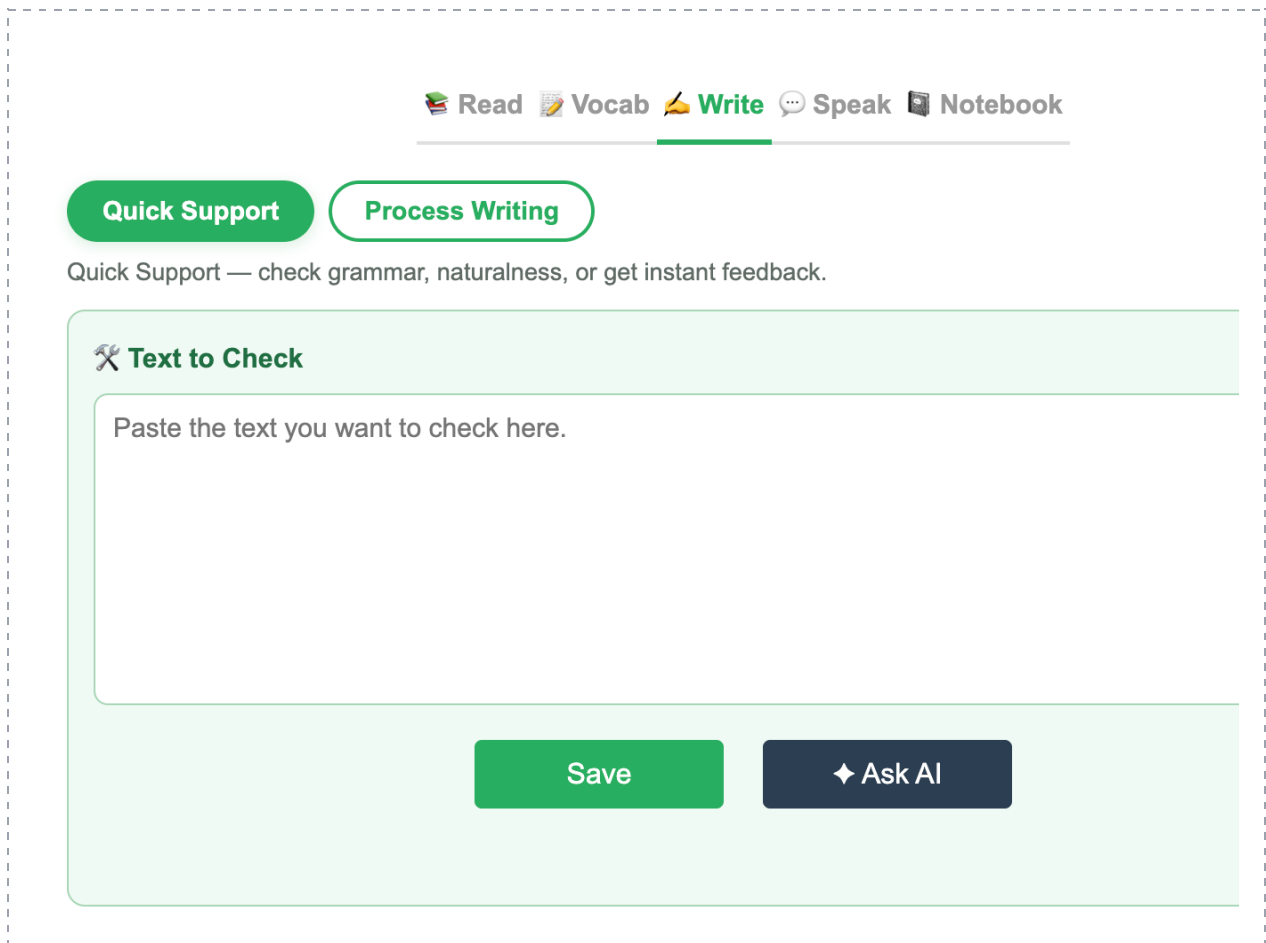
2. Quick Support モード（短文・即時フィードバック）

2-1. モードの概要

学習者が短い英文を入力し、AI から即時のフィードバックを受けられるモードです。「この一文の文法は正しいか」「もっと自然な表現にしたい」といった、その場で完結する確認に向いています。

2-2. 画面構成

Write タブを開くと、画面上部に **モード切替ボタン** があります。**Quick Support** が選択されているとハイライトされます。



主な要素：

要素	役割
Text to Check テキストエリア	学習者が英文を入力する場所
Save ボタン	入力内容を保存（任意）
◆ Ask AI ボタン	AI にフィードバックを依頼する
Writing Support パネル	Ask AI クリック後に表示される AI チャット領域

2-3. 学習者の操作手順

1. **Quick Support モードを選択** — モード切替で Quick Support にする
2. **英文を入力** — Text to Check に書く、または貼り付ける
3. **(任意) Save** — Save ボタンで保存しておく、後で参照できる
4. **◆ Ask AI をクリック** — Writing Support パネルが下に表示される

5. 質問内容を確認/編集 — デフォルトで日本語の質問プロンプトが自動入力されている
6. Send をクリック — AI が回答
7. AI の回答を読む — 必要に応じて追加質問

Save
◆ Ask AI

Writing Support

Paste your text above, then ask for feedback below.

Show Writing Prompts ▼

以下の英文について、私の英語レベルを変えずに、より自然な表現にするためのフィードバックを日本語でください。

【英文】
I think doing an exercise is important to keep our brain healthy.

Send

✕
Clear Chat

💡 Tip

Send 前にプロンプトを編集することで「日本語で答えてほしい」「文法のミスだけ指摘してほしい」など、指示をカスタマイズできます。

2-4. 授業での活用例

- **語彙確認:** 単元で扱う表現を使って一文書かせ、AI で自然さをチェック
- **言い換え練習:** 提示した文を別の表現で書き直し、AI の評価と比較
- **添削の補助:** 学習者が書いた一文を、提出前にセルフチェックさせる

3. Process Writing モード（多段階改稿）

3-1. モードの概要

学習者が **複数の Draft（草稿）** を経て段階的に文章を完成させていく、本格的な英作文学習モードです。

Process Writing という指導法に基づき、以下のような流れで学習が進みます。

Plan（構想） → Draft 1（初稿） → AI feedback → 修正 → Save → Draft 2 → ...

各 Draft は **Snapshot** として保存され、学習者は過去の Draft を振り返って自分の文章の成長を確認できます。

3-2. 重要な概念

このモードを理解するうえで、3つの概念をおさえてください。

Draft（草稿）と Snapshot

- 学習者が「Your Writing」に書いている英文が **現在の Draft（編集集中）**
- Save ボタンを押すと、その時点の Draft が **Snapshot** として保存される
- Snapshot には **Draft 1, Draft 2, Draft 3...** と通し番号が振られる
- Save するたびに番号が増える（前の Snapshot は履歴として残る）

Session（タスク単位）

- 1つの英作文タスクが1つの **Session**
- **+** New Task を押すと、新しい Session が始まる（Snapshot 番号は Draft 1 にリセット）
- 過去の Session は **Process Writing History** から呼び出して再開できる


「Save」と「履歴に残す」は同じ操作

通常のテキストエディタの Save と異なり、Process Writing の Save は「**この時点の Draft を履歴として保存する**」操作です。これにより、Draft 1 → Draft 2 → Draft 3 と推敲過程が記録されていきます。

3-3. 画面構成

主な要素：

要素	役割
Task Type	タスクの種類を選ぶ
Goal	何のために書くか、目的
Topic	題材・トピック
Source Text	参照する英文（任意）
Ideas	構想メモ（自由記述）
Plan	段落構成プラン
Your Writing	実際に英文を書く場所(現在の Draft)

要素	役割
Draft breadcrumb	Your Writing の上に表示される Draft 履歴
 Save (creates Draft N) ボタン	保存ボタン(次の Draft 番号が常に表示される)
◆ Ask AI ボタン	AI にフィードバックを依頼
Snapshots セクション	このタスクの過去 Draft 一覧
Process Writing History	過去のすべての Session 一覧

3-4. 推奨される学習フロー

Step 1: タスクの準備

1. Task Type を選ぶ
2. Goal を入力 (例: "Write a paragraph about technology's impact on children")
3. Topic を入力 (例: "Smartphone use and brain development")
4. 必要なら Source Text に参考英文を貼る




Step 2: 構想 (Ideas / Plan)

1. Ideas に思いついたキーワードや論点を箇条書き
2. Plan で段落構成を整理 (Topic Sentence / Supporting Sentences / Conclusion など)

指導のヒント

Plan は任意ですが、書く前に整理させると Draft の質が上がります。低学年や初級者には飛ばさせず、必ず通させましょう。




Step 3: Draft 1 を書く

1. Your Writing に英文を書く
2.  Save (creates Draft 1) をクリック
3. 保存後、Save ボタンが  Save (creates Draft 2) に変化
4. breadcrumb に Draft 1 →  Draft 2 (editing now) と表示される

Step 4: AI フィードバックを受ける

1. **Ask AI** をクリック
2. Writing Support パネルが Your Writing の下に表示される
3. デフォルトのプロンプト（日本語でフィードバック依頼）をそのまま、または編集して **Send** をクリック
4. AI からの応答を読む

Step 5: Draft 2 に進む

1. AI 応答の末尾にある  **Go to my draft** ボタンをクリック
2. Your Writing にスクロールしてフォーカスが入る
3. AI のフィードバックを参照しながら **自分の言葉で書き直す（コピペはできません）**
4.  **Save (creates Draft 2)** をクリック
5. breadcrumb が **Draft 1 → Draft 2 →  Draft 3 (editing now)** に更新

重要

AI のテキストはコピーされません。「Go to my draft」ボタンの下にも **AI text is not copied.** と表示されています。学習者が自分の言葉で書き直すのが Process Writing の目的です。

Step 6: 繰り返し

Step 4 と Step 5 を繰り返して文章を磨いていきます。Draft 3, 4, 5... と進んでも、過去の Draft は breadcrumb と Snapshots セクションから振り返れます。

3-5. 過去 Draft の確認方法

Your Writing の上にある breadcrumb の各 chip（Draft 1, Draft 2 など）をクリックすると、**読み取り専用プレビュー** が表示されます。

Preview: Draft 3 ×

2026/5/12 11:46:57 · 52 words · read-only

TOPIC

Technology Use

PLAN

Main idea:

Support 1:

Support 2:

Example / detail:

Closing sentence:

DRAFT

I think the use of technology is changing our brains. It can do harm to our brains, so this change may have a negative effect. Especially, children should avoid using tablets or smart phones for long periods of time to keep their brains healthy. Their parents should prioritize their children's brain growth.

Load this draft
Close

プレビュー内で **Load this draft** を押すと、その Draft の内容が現在の Your Writing に復元されます（確認ダイアログあり）。

Tip

5 件以上の Draft があると古いものは ... に省略されます。... をクリックすると全 Draft が一時的に展開表示されます。

Snapshots セクションから

Your Writing の下にある **Snapshots** カードから、より詳細に各 Draft を確認・Load・Delete・Compare できます。

3-6. Process Writing History（過去のセッション）

ページ下部の **Process Writing History** には、過去に取り組んだすべての Session（タスク）がカード形式で並びます。

- 各カードをクリックすると、その Session を再開できる
- 当時の Snapshots や AI チャット履歴がすべて復元される
- **+** New Task で新しい Session を始めても、過去 Session は History に残る

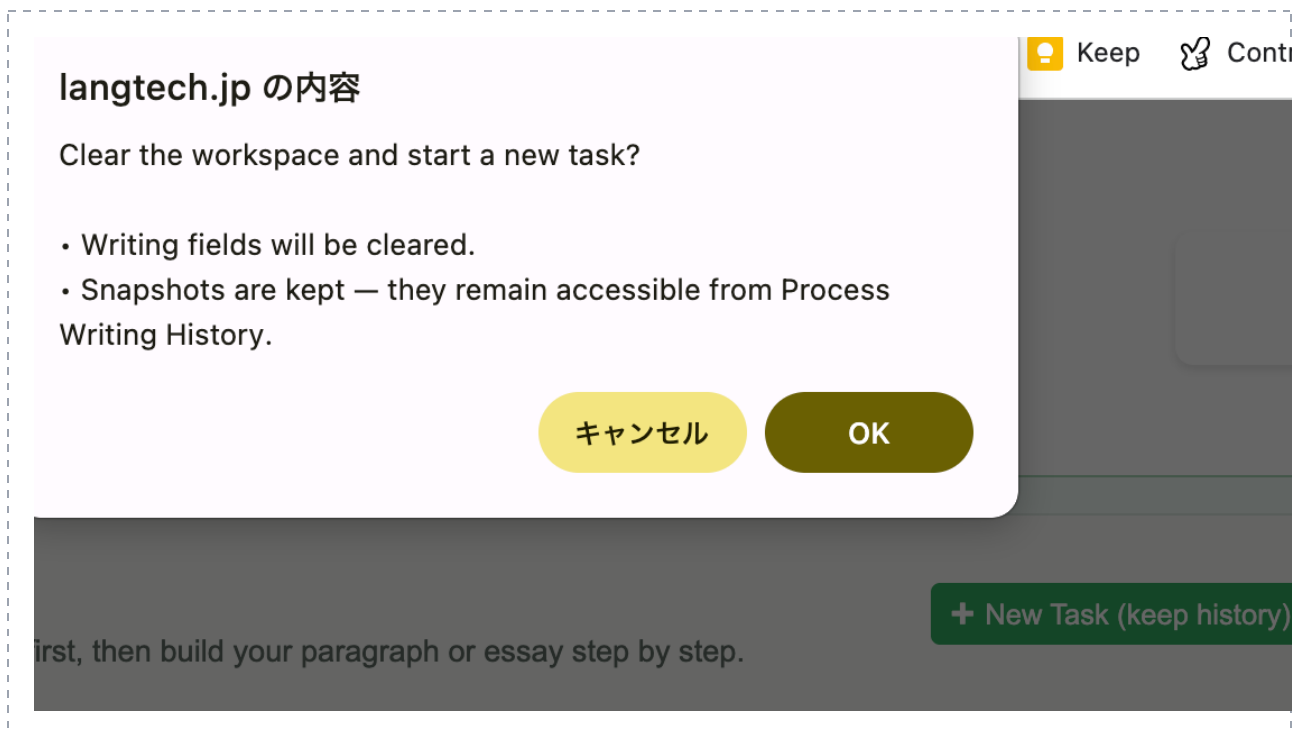
3-7. + New Task (keep history) ボタン

新しいタスクを始めたいときに使うボタンです。

押すと：

- ✓ workspace (Goal / Topic / Draft 等) がクリアされる
- ✓ チャット履歴がリセットされる
- ✓ **Snapshots は Process Writing History に保持される (削除されない)**

過去のタスクは消えずに History に残るので、学習者は安心して新しいタスクを始められます。



3-8. Clear Chat ボタン

Writing Support パネル内の **Clear Chat** は、現在の AI チャット履歴だけを消去します。

Snapshots や Draft には影響しません。

4. 授業設計のヒント

4-1. Quick Support と Process Writing の使い分け

授業シーン	おすすめのモード
単語・表現の使い方練習	Quick Support
1文・短い英作文（5-10分）	Quick Support
段落作文の改稿練習（1コマ）	Process Writing
エッセイの段階的執筆（複数コマ）	Process Writing
プレゼン原稿の練り上げ	Process Writing
提出物の最終チェック	Quick Support または Process Writing

4-2. 学習者が混乱しやすいポイント

「Save を押すと数字が増える」が直感的でない
最初の授業で必ず説明してあげてください。

「Save は『保存』というより『この時点の Draft を履歴に残す』ボタンです。
押すたびに Draft 1, 2, 3... と通し番号がついた Snapshot が増えていきます。
これによって、自分の文章の成長を後から振り返れます。」

Snapshots と History の違い

- **Snapshots:** 今のタスク内での Draft 履歴
- **Process Writing History:** 過去のすべてのタスク

「Snapshots は今の作品の作業履歴、History は過去の作品集」とイメージで伝えるとわかりやすいです。

AI のテキストを「コピーする」と誤解する

「Go to my draft」ボタンを「AI の英文を Draft に貼り付けるボタン」と誤解する学習者がいま

す。ボタンの下に **AI text is not copied.** と注意書きがありますが、初回は口頭でも：

「AI の文章はコピーされません。AI のフィードバックを **読んで参考にして**、自分の英語で書き直しましょう。」

と説明すると安心です。

4-3. Dashboard との連携

先生用 Dashboard (**Student Progress** → **View Progress**) から、各学習者の Snapshots や AI チャット履歴を確認できます。

- どの Draft でつまづいているか
- AI にどんな質問をしているか
- 何回 Draft を書き直しているか

を把握して、個別指導に活用してください。

5. よくある質問・トラブルシューティング

Q1. Save を押し忘れて画面を閉じた場合、書いた内容は消えますか？

書きかけの内容は自動的にローカルに保存されるため、次回開いたときに復元されます。ただし、これは **Snapshot** として履歴化はされていない状態です。確実に履歴に残したい場合は Save を押してください。

Q2. 学習者が間違えて Delete した Snapshot を復元できますか？

残念ながら、個別 Delete で消した Snapshot は復元できません。

ただし **+ New Task (keep history)** では Snapshots は消えない (History に保持される) ので、こちらは安心して使えます。

Q3. AI のフィードバックが英語で返ってくる場合があります

デフォルトのプロンプトでは「日本語で教えてください」と指示されていますが、学習者がプロンプトを編集して英語で質問した場合などは英語で返答されることがあります。

プロンプトに「日本語で」と書き加えるよう指導してください。

Q4. Quick Support と Process Writing でチャット履歴は別ですか？

はい、別管理です。Quick Support で交わしたチャットと Process Writing で交わしたチャットは混ざりません。Process Writing では、さらに Session ごとにチャットが分かります。

Q5. 学習者の Snapshots が増えすぎて見づらいです

5 件以上になると過去のものは `…` で省略表示されるので、画面はすっきり保てます。Snapshots セクションでは個別に Delete も可能です。

Q6. AI のレスポンスが遅い、または途中で止まります

ネットワーク環境や AI サービスの混雑によります。しばらく待ってから再度 Send してください。長時間応答がない場合は、ブラウザを再読み込みしてからやり直してください。

困ったときは（一般的なトラブル）

症状	対処法
ボタンを押しても反応しない	ブラウザを再読み込み (Cmd/Ctrl + R)
画面表示が崩れる	ブラウザのキャッシュをクリア
AI が応答しない	ネットワーク接続を確認、しばらく待って再試行

技術的な不具合や機能要望は水本までご連絡ください。

本マニュアルは LexiTracker LMS 2026 年 5 月 12 日時点の仕様に基づいて作成されています。

機能改修により内容が変わる場合があります。